

南中の宝～あいさつ 応援 駅伝～

本校は、上山市南西部を学区とする全校生 388 名の学校です。本校では、あいさつ・応援・駅伝を南中の宝として大切にしています。

あいさつは、校内ではもちろん、地域の中でのあいさつも活発に行われています。特に、東日本大震災後



かみのやま温泉駅東口で花植えボランティア

自分たちができることは何かを考え、避難して来た方々に雪解け後のゴミを見せないようにとスタートした地域清掃活動や、民生児童委員の方々と生徒会との懇談会など地域とのつながりを大切にしています。

様々な大会を前にした壮行式の応援は、単に声が大きいだけではなく、全校生が一つになって元気、勇気を与える応援です。全国駅伝大会出場を記念して作られた応援歌「気炎万丈」



市中総体壮行式で応援歌「気炎万丈」

を全校生が肩を組んで歌う姿は素晴らしいものがあります。応援を通して、相手を思う気持ちを育てています。

駅伝は、昨年度県中駅伝大会において、女子チームが念願の初優勝、男子チームも入賞して、男女で東北大会に出場することができました。全国の壁は厚く厳しいものでしたが、地域の方々の期待と支援をいただき大きな財産となりました。また、毎年、創立記念駅伝クラスマッチが行われ、全校生が学級ごとにたすきを繋ぎクラスの和を深めています。駅伝を通して厳しさを乗り越えること、仲間との絆や信頼を大切にすることを学んでいます。

南中の3つの宝を受け継ぎながら様々な活動に取り組む生徒たち。

南中を愛し、地域の方々から愛される南中を目指しながら、南中で学び成長することが自身の宝となるよう日々の教育活動を充実させていきます。



駅伝クラスマッチ

4つの伝統 — 挨拶・清掃・歌声・ボランティア —

本校には『4つの伝統』（挨拶・清掃・歌声・ボランティア）があり、生徒会が中心となってこれらの伝統を受け継ぐ活動に取り組んでいます。

1 心を結ぶ挨拶運動

かつて、来校された業者さんから「こんなに挨拶のよい学校は初めてです」とお褒めをいただきました。以来、挨拶は子ども達の誇りとなり伝統となりました。現在は、「自分から」「相手の目を見て」「心のこもった挨拶」をする運動を展開しています。どんなに急いでいても立ち止まって、「こんにちは!」と元気な挨拶をしています。



2 心を磨く無言膝つき清掃

新校舎で学び始めた当時の先輩たちが、「きれいなままの校舎を後輩に残そう」との思いから力を込めて床を磨いているうち、自然に膝をつく姿勢になり黙って掃除をするようになりました。それが誇れる伝統となって現在に受け継がれています。

3 心を紡ぐ歌声活動

聴く者すべてに感動を届ける合唱づくりは、代々の伝統となっています。毎日10分間の歌声活動を積み重ね、学期毎に「歌声活動発表会」を開催し、保護者の方や次年度入学予定の6年生にも聴いていただいています。

4 心を通わずボランティア活動

町内施設等に出向いて、清掃活動や合唱披露をさせていただくボランティア活動を展開しています。今年度は、幼稚園・保育園でのボランティア活動を実施しました。

